

平成 26 年度後期「学生による授業評価」 結果の分析（学部・別科）

2016/3/4
教育支援室

1 概要

1.1 調査の概要

平成 26 年度後期末に行われた「学生による授業評価」アンケート調査の結果を報告します。同調査は平成 15 年度前期から毎学期実施されていますが、**今期から評価対象や設問が変更**されています（表 1）。

表 1 平成 26 年度後期からの変更点

	平成 26 年度後期	平成 26 年度前期以前
対象授業	卒業研究等を除く全授業	各教員の選択する授業
評価項目 （設問）	・ 学生自身の学習に対する評価（A1—A5） ・ 授業の全体構成に対する評価（B1—B5） ・ 授業方法の要素に対する評価（C1—C9） （全 19 問）	・ 授業方法に対する評価（問 1-1—10） ・ 授業全体に対する評価（問 2） （全 11 問）

1.2 結果の概要

対象授業全体における総回答者数¹は 7,737、回答率は 83.2%でした（表 2）。

表 2 回答状況

総履修者数	総回答者数	回答率
9,294	7,737	83.2%

1.2.1 学生自身の学習に対する評価結果（設問 A1—A5，図 1）

学生の学習に関しては、授業にはよく出席しており（A1）、授業後の学習への関心はおおむね高められているようです（A5）が、授業への参加態度は必ずしも積極的だったとは評価されていません（A2）。シラバスの目標達成に対する評価もやや低くなりました（A4）が、調査時期に学生がシラバスを目にする機会が多

¹ 無効な回答を一部に記入したものも含む。

いとはいえないことは留意すべきでしょう。また、**授業 1 回に対する授業外学習時間の平均²は 45 分**で（A3）一定の水準を保ってはいるものの、その内訳も考慮すれば必ずしも十分とはいえません。

学生の主体的・能動的学修（アクティブ・ラーニング）が重視されるなか、**授業外学習をいっそう促し、到達目標に結びつく学生参加型の授業要素を導入**するなど、学生の意識を変える授業の実践が望まれます。

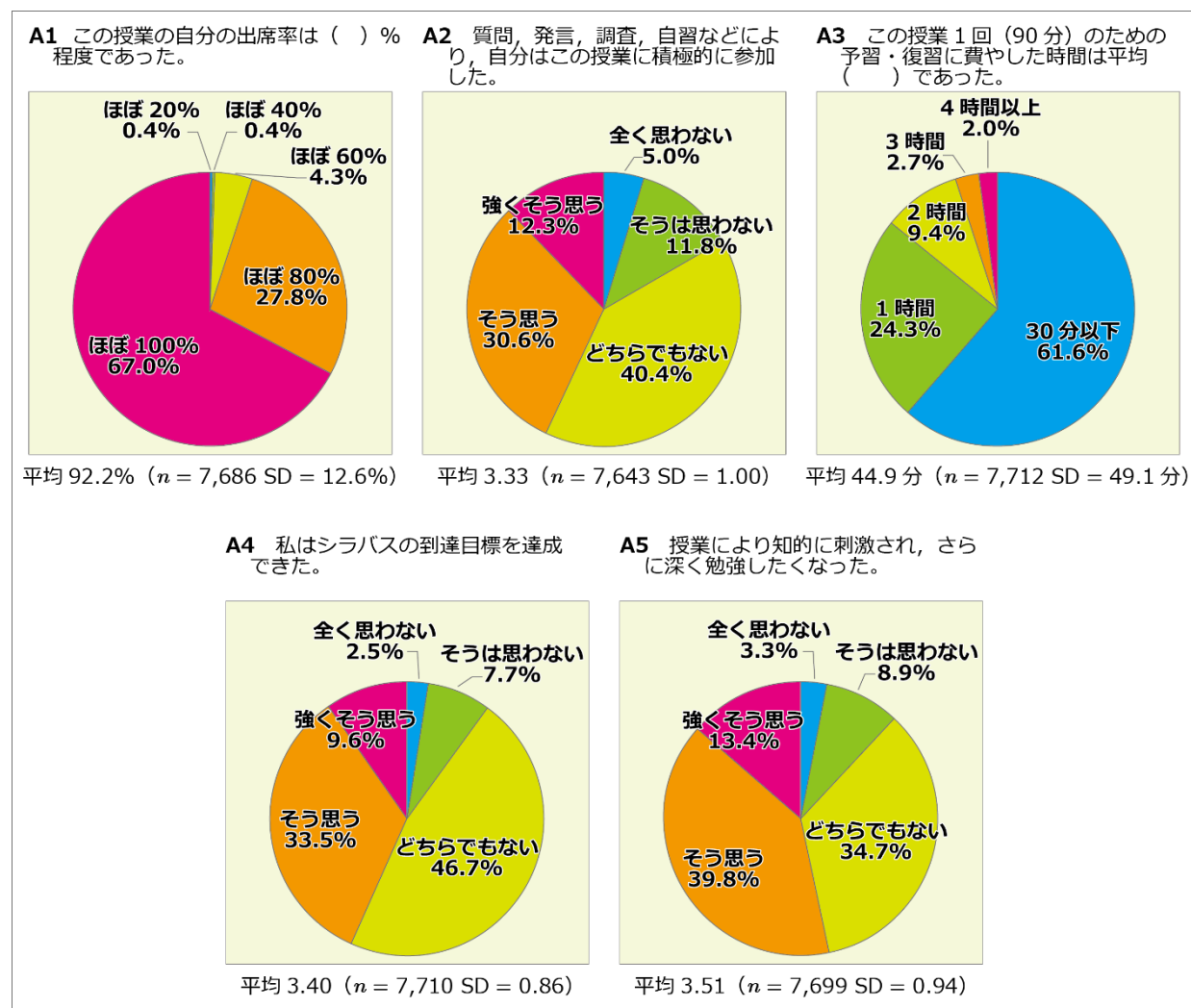


図 1 学生自身の学習に対する評価結果³

1.2.2 授業の全体構成に対する評価結果（設問 B1—B5、図 2）

授業全体に対する満足度は良好（B3）であり、授業の学習量の評価に結びつくと思われる単位数についても妥当とする回答が多くなりました（B1）。シラバスに対する評価は相対して低くなりました（B2）が、そ

² 算出方法は後述。

³ 1 全く思わない, 2 そうは思わない, 3 どちらでもない, 4 そう思う, 5 強くそう思う, として集計（以下同）。

の解釈には設問 A4 と同様の注意も必要でしょう。なお、獣医学分野に限定した設問（B4、B5）は評価が低くなりましたが、必ずしも獣医学と直結しない授業が評価対象となっていることも影響していると考えられます。

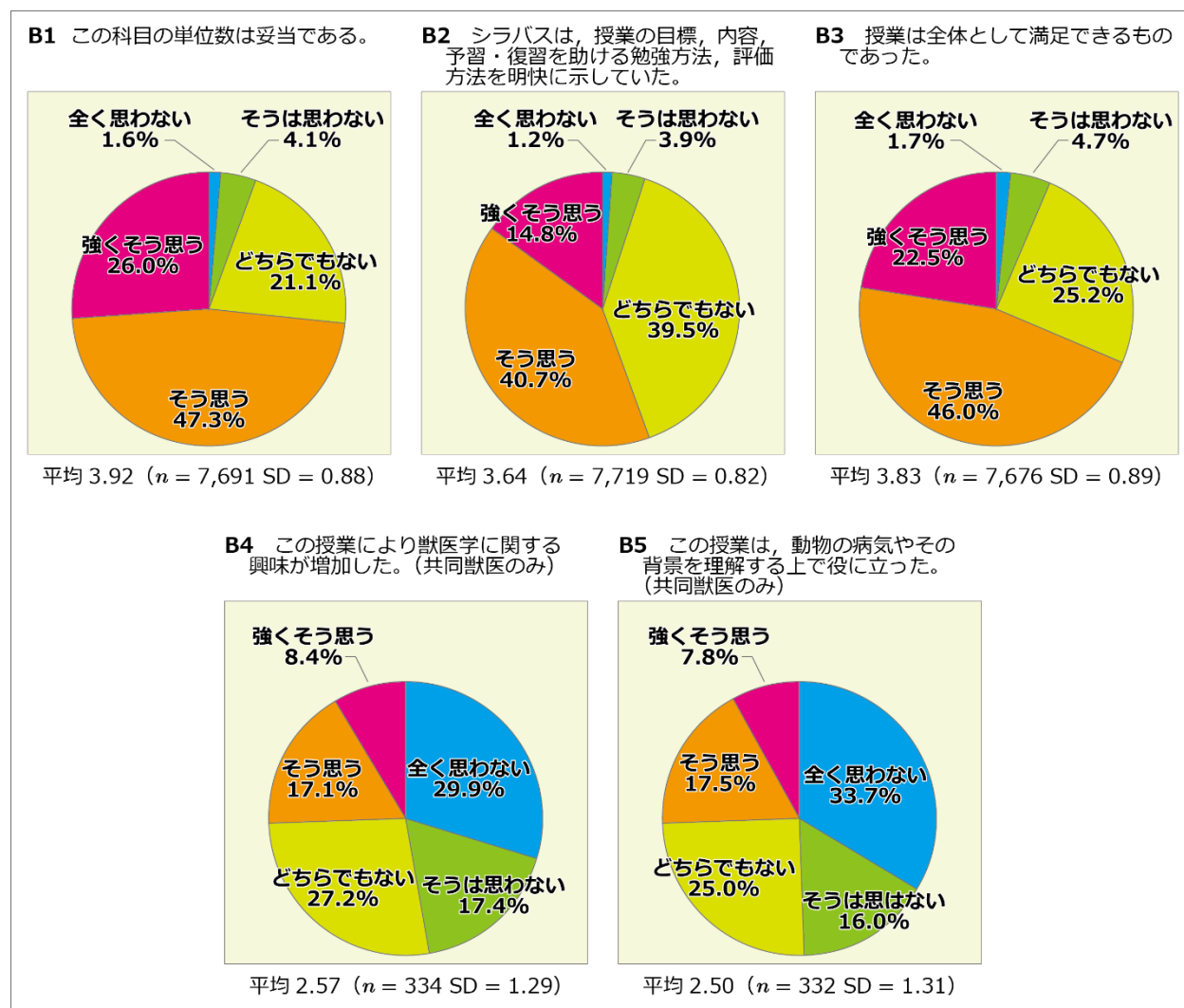


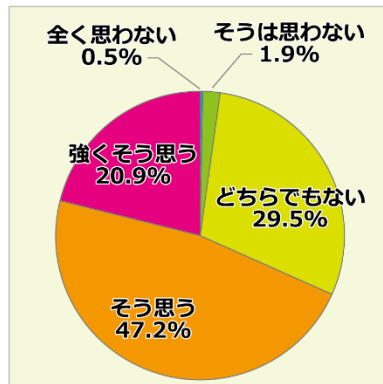
図 2 授業の全体構成に対する評価結果

1.2.3 授業方法の要素に対する評価結果（C1—C9、図 3）

授業方法についてもおおむね肯定的で、授業の作業量（C2）、教員の説明のわかりやすさ（C4）・熱意（C5）・聞き取りやすさ（C6）、学生への対応（C8）、教材・機器の使用（C9）について高い評価となりました。また、授業難易度も適切⁴と評価されました（C3）。シラバスに沿った進行についても高評価（C1）でしたが、設問 A4 や B2 と同様の留意も必要です。比較的 low 評価だった授業への参加促進について（C7）は、設問 A2 ととも整合する結果といえます。やはり **学生の参加を促す働きかけ** が課題といえそうです。

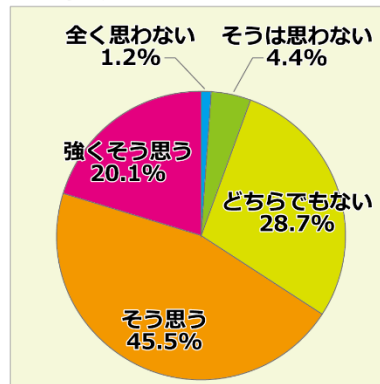
⁴ 1 極めてやさしい、2 やさしい、3 適切、4 難しい、5 極めて難しい、として集計。

C1 授業はシラバスに沿って行われていた。



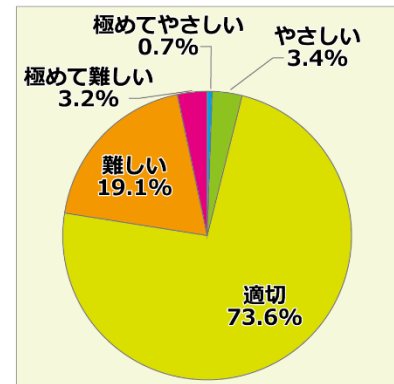
平均 3.86 (n = 7,712 SD = 0.78)

C2 授業で要求される作業量（レポート、課題、予習・復習など）は適切であった。



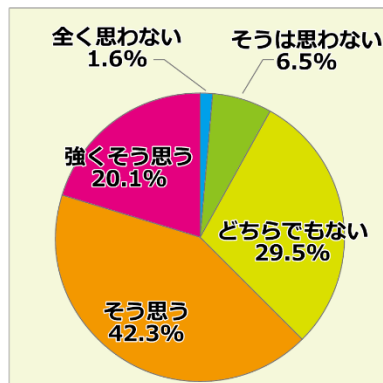
平均 3.79 (n = 7,693 SD = 0.85)

C3 授業内容の難易度は適切であった。



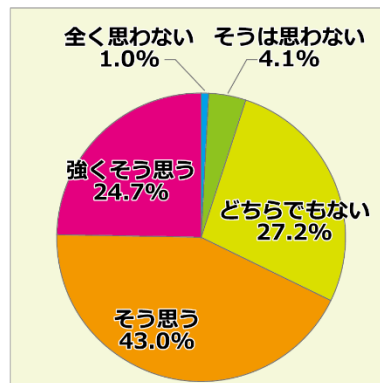
平均 3.21 (n = 7,710 SD = 0.58)

C4 教員の説明はわかりやすかった。



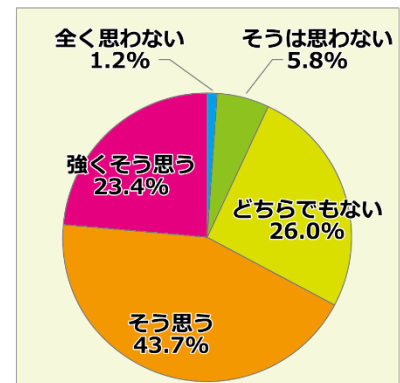
平均 3.73 (n = 7,717 SD = 0.91)

C5 教員の熱意が伝わってきた。



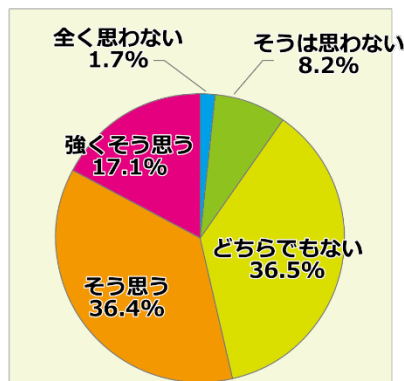
平均 3.86 (n = 7,717 SD = 0.87)

C6 教員の話し方は聞き取りやすかった。



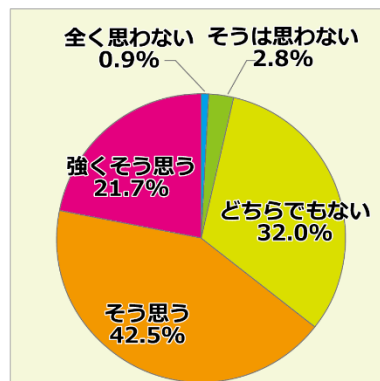
平均 3.82 (n = 7,719 SD = 0.89)

C7 教員は効果的に学生の参加（発言、自主的学習、作業など）を促した。



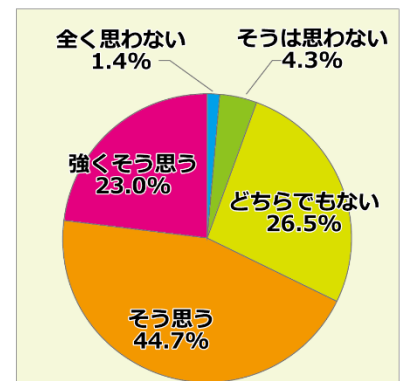
平均 3.59 (n = 7,716 SD = 0.92)

C8 教員は学生の質問・発言等適切に対応した。



平均 3.81 (n = 7,720 SD = 0.83)

C9 黒板、教科書、プリントや AV 機器の使い方が効果的であった。



平均 3.84 (n = 7,724 SD = 0.88)

図 3 授業方法の要素に対する評価結果

2 分析

2.1 授業外学習時間

上述のとおり、授業 1 回に対する授業外学習時間は平均 45 分で、これは「30 分以下」を 15 分、「4 時間以上」を 4 時間とした場合の推定値です。「30 分以下」を 30 分または 0 分とした場合の平均は、それぞれ 54 分または 36 分となります⁵。いずれの場合も平均だけで見る限り

「30 分以下」の学習時間	平均学習時間
15 分	44.9 分
30 分	54.1 分
0 分	35.6 分

は、**授業 1 回に少なくとも 40 分弱の準備学習が行われていると評価** できます。

ただし、6 割以上の学生が「30 分以下」で準備学習をほとんど行っていない可能性もあり、残り 4 割の学生が平均値を「支えている」状況には変わりありません。もちろん、単位数のみで準備学習時間を機械的に評価することや、アンケート調査のみから実態を推測することには議論の余地はありますが、個々の授業における **準備学習の促進強化が引き続き求められる** 結果といえるでしょう。

「30 分以下」を 15 分とした場合の、学年別、所属（課程）別、授業形態別の授業外学習時間は、それぞれ、図 4、図 5、図 6 のようになります。

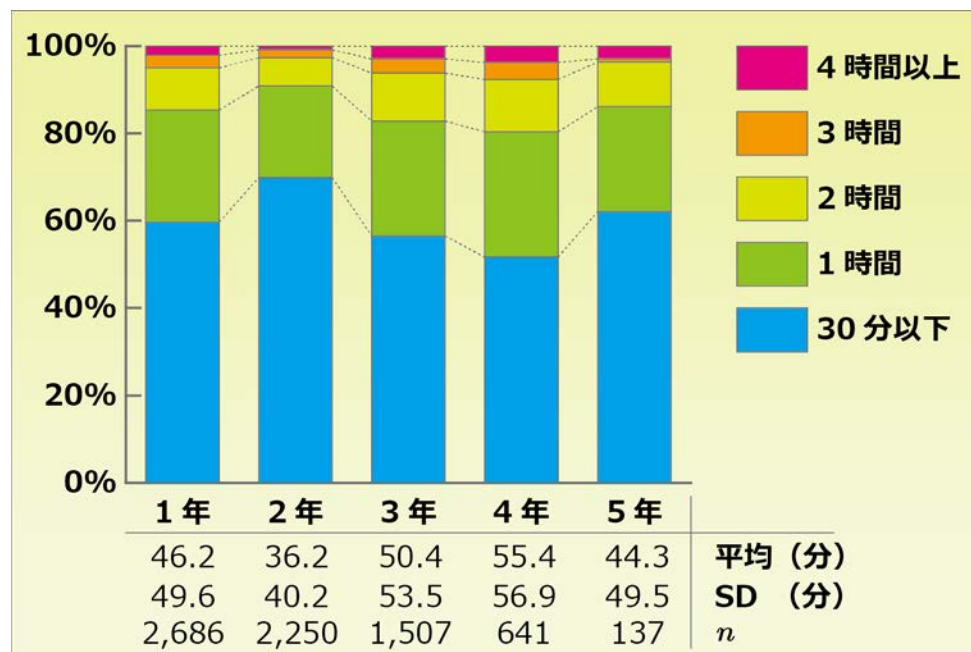


図 4 授業外学習時間（学年別の比較）

⁵ なお、「4 時間以上」の割合はわずかであり、この階級値を変えても平均値に大きな変動はない。

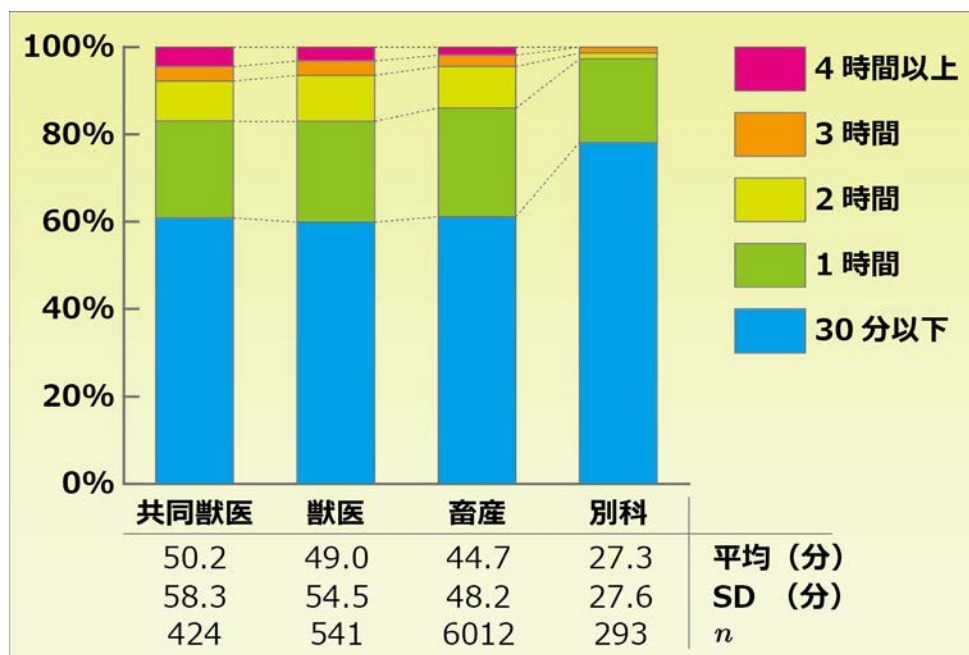


図5 授業外学習時間（所属別の比較）

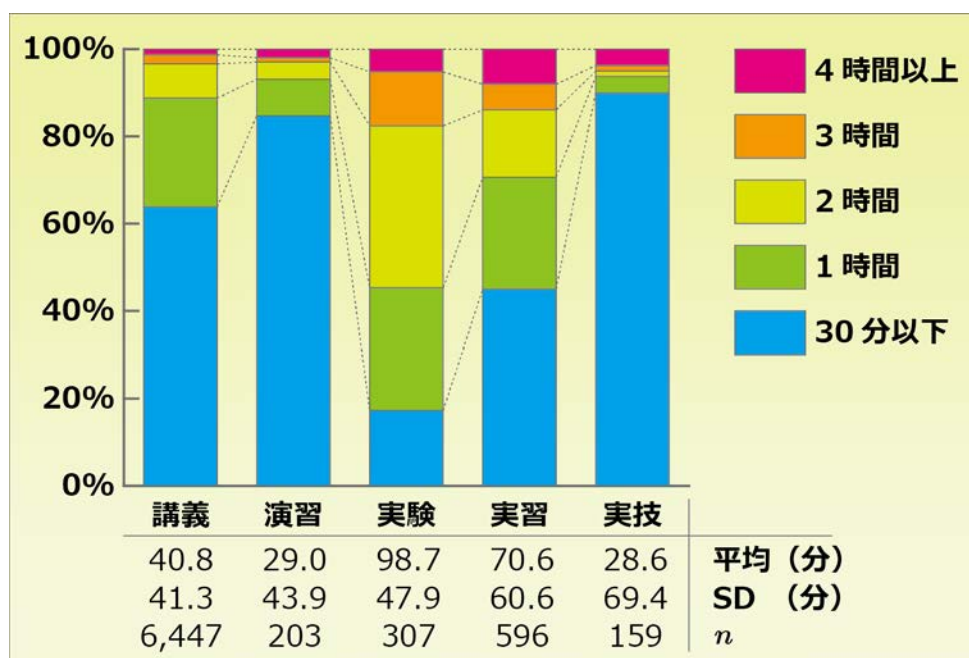


図6 授業外学習時間（授業形態別の比較）

学年別にみると、**2年生の学習時間が明らかに短く**，4年生の学習時間が比較的長いことがわかります。なお，ここでは回答者数の少ない6年生のデータは除いてあります。所属（課程）別では，畜産科学課程と獣医学課程の差はごくわずかですが，別科の授業外学習時間は短いことがわかります。

さらに授業形態別の比較では、**実験と実習の授業外学習時間が特に長い** ことがわかります。単位数の規定にもとづけば、本来は講義に対する学習時間が他よりも長くなる必要がありますが、結果としては逆転が起こっています。要因として、実験や実習のレポートの作成に授業外学習時間の多くが割かれていることが推測されますが、仮にこのことが他の学習時間を圧迫するのであれば、**単位数を目安とする学修の周知や、課題量の適切な設定なども必要** といえるでしょう。

2.2 設問間の関係

各設問の対する回答間の相関係数⁶は、表 3 のとおりです。ここでは共同獣医学課程のみを対象とする設問 B4, B5 は除いています。

表 3 設問間の相関係数（便宜上 0.4 以上 0.5 未満, 0.6 未満, 0.7 未満, 0.7 以上で分類）

	A1	A2	A3	A4	A5	B1	B2	B3	C1	C2	C3	C4	C5	C6	C7	C8
A2	.21															
A3	.03	.27														
A4	.18	.51	.19													
A5	.11	.42	.17	.55												
B1	.11	.22	.03	.40	.44											
B2	.08	.34	.11	.50	.46	.53										
B3	.10	.35	.06	.47	.59	.53	.59									
C1	.09	.29	.07	.49	.42	.50	.65	.59								
C2	.07	.24	.01	.38	.41	.50	.51	.56	.62							
C3	.00	.05	.13	-.02	-.05	-.03	.01	-.06	.02	-.05						
C4	.05	.26	.03	.38	.46	.43	.47	.63	.52	.53	-.07					
C5	.08	.27	.04	.35	.43	.41	.44	.58	.50	.47	-.01	.69				
C6	.05	.23	.02	.35	.42	.42	.45	.59	.51	.51	-.05	.75	.71			
C7	.10	.38	.15	.39	.39	.33	.43	.49	.45	.43	.03	.54	.58	.58		
C8	.11	.33	.09	.38	.40	.40	.45	.54	.50	.48	.04	.59	.61	.63	.70	
C9	.07	.24	.05	.34	.39	.43	.45	.55	.51	.51	.01	.61	.59	.64	.56	.65

この結果からは、C4（説明のわかりやすさ）、C5（教員の熱意）、C6（説明の聞き取りやすさ）間や、C7（教員による参加の促進）、C8（学生対応）間などに比較強い相関があることがわかります。これに限らず、設問 C（授業方法の要素に対する評価）の結果間には中程度の相関があり、いずれの授業方法・要素もおおむね共通する評価が与えられているといえます。

同様の傾向は設問 B（授業全体に対する評価）間、および設問 B、C 間にも見られ、授業方法・要素の評価が、授業全体の評価に結びついているということが出来ます。特に、B3（授業全体の満足度）は C4

⁶ Spearman の順位相関係数。サンプル数は設問間によりすべて異なるため、省略する。

と比較的強く相関しています。授業方法・要素の個々の改善，とりわけ **説明のわかりやすさ**が，**授業全体の満足度**に影響している様子がうかがえます。

これらと比較して，設問 A（学生の学習に対する評価）の各設問は，他の設問の結果にあまり関係していないようです。A1（出席率）は別としても，A2（授業参加の積極性）や A3（授業外学習量）に他の項目との相関がほとんど見られないこと⁷は，**主体的・能動的な学修の重視という観点で十分に検討**される必要があるでしょう。

2.3 前回以前との比較

平成 26 年度後期とそれ以前とでは設問が異なるため直接の比較はできませんが，参考として内容の近いと考えられる設問（表 4）結果に限って，これまでの推移の様子を表したものが図 7 です。各項目はおおむね全体評価に沿う推移を示し，**本授業評価開始から現在まで全体としては緩やかに上昇**しているようです。

表 4 経年変化の比較項目

番号	平成 26 年度前期までの設問	番号	平成 26 年後期の設問
問 1-7	この授業はテキストや配布資料などの教材を有効に使っていた	C9	黒板，教科書，プリントや AV 機器等の使われ方が効果的であった。
問 1-8	教員の説明は聞きやすく，よく理解できた	C6	教員の話し方は聞き取りやすかった。
問 1-9	教員の板書やプレゼンテーション（スライド）は見やすかった	C9	黒板，教科書，プリントや AV 機器等の使われ方が効果的であった。
問 2	授業全体の評価（10 段階を 5 段階に換算）	B3	授業は全体として満足できるものであった。

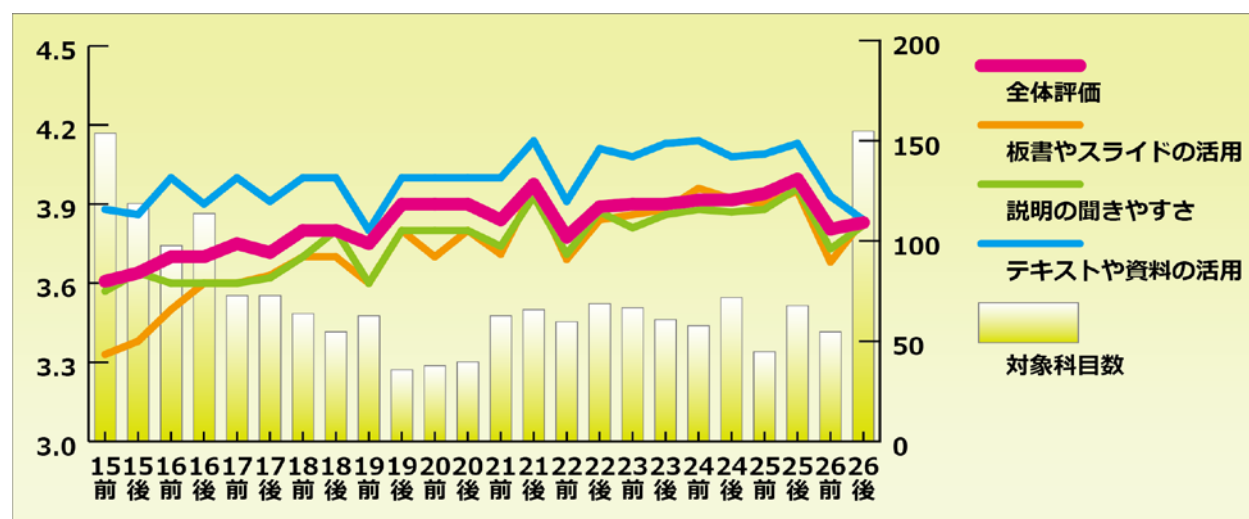


図 7 これまでの授業評価との比較

⁷ 「30 分以下」の回答者を除いても相関がみられない。

参考 A 設問と集計結果の詳細

本アンケートの設問および尺度は、それぞれ表 3、表 4 の通りで、結果を図 8 に示します。なお、平成 26 年度前期以前の設問は表 5 の通りで、評価尺度は問 1 が 5 段階、問 2 が 10 段階です。

表 5 平成 26 年度後期からの評価項目の設問

番号	設問文	番号	設問文
A1	この授業の自分の出席率は（ ）%程度であった。	C1	授業はシラバスに沿って行われていた。
A2	質問、発言、調査、自習などにより、自分はこの授業に積極的に参加した。	C2	授業で要求される作業量（レポート、課題、予習・復習など）は適切であった。
A3	この授業 1 回（90 分）のための予習・復習に費やした時間は平均（ ）であった。	C3	授業内容の難易度は適切であった。
A4	私はシラバスの到達目標を達成できた。	C4	教員の説明はわかりやすかった。
A5	授業により知的に刺激され、さらに深く勉強したくなった。	C5	教員の熱意が伝わってきた。
B1	この科目の単位数は妥当である。	C6	教員の話し方は聞き取りやすかった。
B2	シラバスは、授業の目標、内容、予習・復習を助ける勉強方法、評価方法を明快に示していた。	C7	教員は効果的に学生の参加（発言、自主的学習、作業など）を促した。
B3	授業は全体として満足できるものであった。	C8	教員は学生の質問・発言等に適切に対応した。
B4	この授業により獣医学に関する興味が増加した。※共同獣医学課程の学生のみ回答。対象科目は専門科目（必修科目）	C9	黒板、教科書、プリントや AV 機器等の使われ方が効果的であった。
B5	この授業は、動物の病気やその背景を理解する上で役に立った。※共同獣医学課程の学生のみ回答。対象科目は専門科目（必修科目）		

表 6 平成 26 年度後期からの評価項目の尺度

番号	尺度
A1	1「ほぼ 20%」、2「ほぼ 40%」、3「ほぼ 60%」、4「ほぼ 80%」、5「ほぼ 100%」
A3	1「30 分以下」、2「1 時間」、3「2 時間」、4「3 時間」、5「4 時間以上」
C3	1「極めてやさしい」、2「やさしい」、3「適切」、4「難しい」、5「極めて難しい」
その他	1「全く思わない」、2「そうは思わない」、3「どちらでもない」、4「そう思う」、5「強くそう思う」

表 7 平成 26 年度前期以前の設問

番号	設問文	番号	設問文
問 1	授業評価項目の評価	問 1-6	この授業の開始時間、終了時間は適切だった
問 1-1	この授業の目標や目的は明確だった	問 1-7	この授業はテキストや配布資料などの教材を有効に使っていた
問 1-2	この授業の内容は授業科目名と一致していた	問 1-8	教員の説明は聞きやすく、よく理解できた
問 1-3	この授業の内容は普通の努力で理解できるレベルだった	問 1-9	教員の板書やプレゼンテーション（スライド）は見やすかった
問 1-4	この授業の内容はよく整理されていた	問 1-10	教員は授業の準備を十分にしていた
問 1-5	この授業の内容に興味や面白みを感じた	問 2	授業全体の評価

		A1	A2	A3	A4	A5	B1	B2	B3	B4	B5	C1	C2	C3	C4	C5	C6	C7	C8	C9	
全体	平均	4.61	3.33	1.59	3.39	3.51	3.92	3.64	3.83	2.57	2.5	3.86	3.79	3.21	3.73	3.86	3.82	3.58	3.81	3.83	
	SD	0.63	1	0.91	0.86	0.94	0.88	0.82	0.89	1.3	1.32	0.78	0.85	0.58	0.91	0.87	0.89	0.92	0.83	0.88	
	n	7247	7211	7272	7269	7259	7253	7278	7242	334	332	7273	7256	7271	7275	7277	7280	7276	7280	7283	
学年別	1	平均	4.69	3.46	1.62	3.47	3.47	3.91	3.65	3.83	2.61	2.55	3.86	3.77	3.25	3.72	3.9	3.82	3.61	3.84	3.8
		SD	0.59	1.04	0.92	0.88	0.96	0.92	0.82	0.89	1.3	1.32	0.79	0.89	0.6	0.9	0.88	0.89	0.95	0.87	0.9
		n	2679	2668	2686	2685	2676	2675	2688	2669	241	240	2687	2676	2682	2685	2686	2687	2688	2684	2685
	2	平均	4.59	3.19	1.43	3.35	3.5	3.89	3.62	3.77	2.37	2.25	3.79	3.78	3.17	3.7	3.78	3.81	3.49	3.71	3.8
		SD	0.65	0.91	0.77	0.78	0.89	0.79	0.75	0.86	1.27	1.3	0.72	0.77	0.54	0.88	0.81	0.85	0.87	0.76	0.83
		n	2243	2227	2250	2252	2251	2249	2260	2246	87	87	2256	2248	2256	2257	2257	2255	2253	2258	2260
	3	平均	4.54	3.38	1.7	3.46	3.63	4.01	3.75	3.92	2.5	3.5	4.01	3.88	3.18	3.78	3.89	3.84	3.65	3.89	3.93
		SD	0.63	0.99	0.99	0.86	0.94	0.92	0.86	0.9	0.71	0.71	0.8	0.9	0.58	0.94	0.89	0.95	0.94	0.84	0.9
		n	1504	1495	1507	1506	1505	1500	1506	1503	2	2	1507	1506	1506	1508	1508	1510	1509	1511	1510
	4	平均	4.47	3.21	1.79	3.2	3.48	3.86	3.5	3.85	.	.	3.79	3.79	3.24	3.83	3.89	3.94	3.63	3.87	3.9
		SD	0.68	1.04	1.04	0.91	0.97	0.92	0.88	0.84	.	.	0.81	0.86	0.61	0.87	0.89	0.84	0.9	0.84	0.81
		n	633	636	641	638	639	641	636	634	0	0	634	638	638	638	637	641	638	638	639
	5	平均	4.62	3.03	1.58	3.1	3.22	3.88	3.41	3.64	.	.	3.73	3.55	3.22	3.33	3.99	3.62	3.62	3.84	3.68
		SD	0.56	1.09	0.92	0.86	1.14	0.83	0.93	1.21	.	.	0.88	0.86	0.55	1.15	0.94	1.08	1.03	0.94	1.03
		n	138	137	137	138	138	137	138	138	0	0	138	138	138	138	138	138	138	138	138
	6	平均	4.5	3.5	2.5	3.5	4	4	3.5	4	.	.	3.75	3.75	3.75	3.5	4.5	3.5	3.5	3.5	3.75
		SD	0.58	1.29	1.91	1.29	0.82	0.82	1.29	0.82	.	.	1.26	1.26	0.96	1.29	0.58	1.73	1.29	1.29	0.96
		n	4	4	4	4	4	4	4	4	0	0	4	4	4	4	4	4	4	4	4
所属別	共同獣医	平均	4.6	3.34	1.68	3.42	3.42	3.8	3.6	3.66	2.57	2.5	3.83	3.74	3.15	3.61	3.8	3.67	3.56	3.73	3.68
		SD	0.6	0.99	1.07	0.91	0.97	0.94	0.84	0.98	1.3	1.32	0.78	0.85	0.65	0.94	0.9	0.93	0.92	0.83	0.93
		n	426	421	424	425	425	426	426	422	334	332	425	423	426	424	426	425	425	424	425
	獣医	平均	4.59	3.1	1.67	3.14	3.31	3.79	3.38	3.69	.	.	3.65	3.62	3.22	3.63	3.84	3.77	3.6	3.86	3.79
		SD	0.53	1.03	1.01	0.85	1.01	0.86	0.85	0.95	.	.	0.81	0.86	0.58	0.98	0.92	0.92	0.93	0.85	0.87
		n	534	536	541	536	539	539	534	535	0	0	534	537	536	536	536	539	536	537	537
	畜産	平均	4.63	3.33	1.59	3.41	3.53	3.94	3.67	3.85	.	.	3.88	3.81	3.21	3.74	3.86	3.84	3.57	3.81	3.85
		SD	0.63	1	0.9	0.85	0.94	0.88	0.82	0.87	.	.	0.78	0.85	0.57	0.9	0.86	0.89	0.93	0.83	0.88
		n	5992	5961	6012	6013	6001	5992	6023	5990	0	0	6018	6003	6014	6019	6019	6020	6020	6023	6025
	別科	平均	4.28	3.54	1.26	3.45	3.59	3.81	3.6	3.9	.	.	3.82	3.8	3.25	3.78	3.91	3.87	3.73	3.84	3.81
		SD	0.74	0.93	0.55	0.77	0.86	0.73	0.73	0.83	.	.	0.78	0.81	0.58	0.79	0.8	0.8	0.81	0.81	0.87
		n	293	291	293	293	292	294	293	293	0	0	294	291	293	294	294	294	293	294	294
	その他	平均	4.5	4	2	4	3.5	4	3	4.5	.	.	4	3	3	3	3	3	3	3	3.5
		SD	0.71	1.41	0	0	0.71	1.41	0	0.71	.	.	0	0	0	0	0	0	0	0	0.71
		n	2	2	2	2	2	2	2	2	0	0	2	2	2	2	2	2	2	2	2
授業形態別	講義	平均	4.58	3.23	1.52	3.35	3.49	3.96	3.63	3.8	2.52	2.44	3.84	3.8	3.19	3.73	3.86	3.83	3.55	3.77	3.85
		SD	0.65	0.99	0.83	0.85	0.94	0.83	0.81	0.88	1.3	1.32	0.77	0.83	0.57	0.9	0.86	0.88	0.92	0.83	0.87
		n	6425	6386	6447	6446	6435	6428	6454	6420	241	240	6448	6430	6446	6450	6452	6451	6451	6453	6457
	演習	平均	4.71	3.54	1.27	3.48	3.23	3.58	3.48	3.73	1.89	1.89	3.82	3.64	3.63	3.47	3.56	3.62	3.5	4.08	3.93
		SD	0.59	1	0.76	0.94	1.08	1.13	0.87	0.99	1.17	1.17	0.83	0.97	0.73	1.05	1.03	1	1	0.91	0.95
		n	202	202	203	202	200	202	202	201	9	9	203	202	203	203	203	203	203	203	203
	実験	平均	4.83	3.95	2.6	3.7	3.63	3.47	3.71	3.85	3.15	3.22	3.86	3.64	3.41	3.64	3.88	3.81	3.75	3.93	3.7
		SD	0.41	0.84	1.07	0.8	0.84	1.19	0.84	0.83	0.96	0.99	0.81	0.93	0.63	0.94	0.88	0.89	0.85	0.86	0.88
		n	306	305	307	307	307	307	308	305	52	51	307	306	307	308	308	308	308	308	308
	実習	平均	4.69	3.8	2.06	3.63	3.75	3.84	3.65	3.96	.	.	3.93	3.7	3.22	3.7	3.79	3.71	3.8	3.97	3.81
		SD	0.54	0.89	1.25	0.85	0.9	0.97	0.82	0.88	.	.	0.81	0.95	0.59	0.91	0.89	0.92	0.85	0.8	0.91
		n	594	591	596	596	598	595	596	593	0	0	595	596	596	597	596	598	595	597	597
	実技	平均	4.64	4.24	1.25	4.03	3.77	3.99	4.02	4.4	2.13	1.94	4.3	4.03	3.09	4.18	4.51	4.28	4.19	4.26	3.68
		SD	0.59	0.81	0.86	0.91	1	1.04	0.9	0.78	1.54	1.44	0.73	0.86	0.53	0.84	0.69	0.82	0.82	0.77	1.05
		n	159	159	159	159	159	159	159	157	32	32	159	159	158	159	158	159	159	159	159

図 8 全設問結果の平均、標準偏差、有効回答数